



本校 <http://www.akitahokuyou-h.akita-pref.ed.jp/>

SSH <https://ssh.jst.go.jp/>

「北海道岩見沢農業高校研究成果発表会」に本校から参加しました!!

2月18日(木)、今年度から交流を持つことになった北海道岩見沢農業高等学校の研究成果発表会に、本校から3つの研究グループ計12名が参加しました。

岩見沢農業高校は北海道で最も歴史のある農業高校で、7学科7クラスという大規模な学校です。本校と同じく平成25年度からSSHに指定され、東日本で2校しかない農業学科を持つSSH校という縁で今回の交流が実現しました。

岩見沢農業高校の2年生の発表7題の後、秋田北鷹ケイボン班が全編英語で発表しました。その発表の評価が非常に高く、質疑では運営指導委員の先生から英語で質問されるほどでした。その後は岩見沢農業高校の3年生の発表を7題聞かせていただき、歴史ある農業高校の高度な研究発表を伺うことができました。

午後からはマイツルテンナンショウ班(2A)と土の成分調査班(1N)がポスター発表を行い、岩見沢農業高校の生徒と意見交流をしてきました。普通科から参加したマイツルテンナンショウ班は、農業を学ぶ高校生らしい観点からの質問に大変勉強になったと話していました。

本校からの発表テーマは以下の通りです。

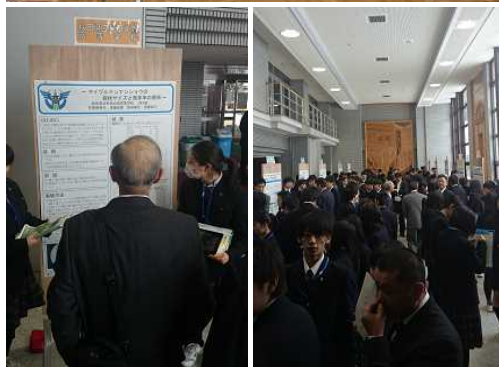
【口頭発表】

「比内地鶏去勢鶏の高級ブランド化を目指して～去勢技術と生産方法の確立」(秋田北鷹ケイボン班)

【ポスター発表】

「マイツルテンナンショウの個体サイズと発芽率の関係」(2A)

「秋田北鷹高校農場と一般家庭での土壌成分の比較」(1N)



北海道岩見沢農業高校から4名の生徒さんが来てくれました!!

2月22日(月)、岩見沢農業高校から森林科学科の3年生4人と職員2名が本校に来校してくれました。

本校生物資源科・緑地環境科2年が中心となり、歓迎セレモニーと研究発表会を行いました。

研究発表会では本校から3題、岩見沢農業高校から1題の計4題の発表があり、特に岩見沢農業高校の発表では多くの生徒や先生方から質問がされ、非常に活発な会になりました。森林環境コースの生徒は、他県と同じ林業を学ぶ生徒との意見交流は非常に刺激的であったと話していました。また、この研究について森林環境コースの3年生に話したところ、とても興味深い研究で実際に話してみたいと話していました。来年度は3年生もこの交流事業に加わることができるよう進めていきたいと考えています。

研究発表会での発表テーマは以下の通りです。

【口頭発表】

①「木材の可能性を引き出したい!『Only One』を多くのスケートボーダーに」(緑地環境科2年)

②「比内地鶏去勢鶏の高級ブランド化を目指して～去勢技術と生産方法の確立」(秋田北鷹ケイボン班)

③「バター餅で守れ!北秋田の味プロジェクト!」(家庭クラブ)

④「トドマツ人工林における巻き枯らし間伐の効果についての調査研究」(岩見沢農業高校森林科学科3年)

